

京都府内

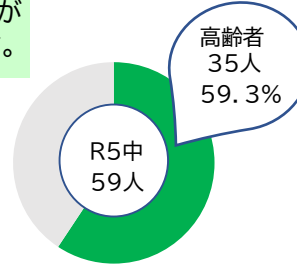
高齢者の交通死亡事故の特徴(令和5年中)



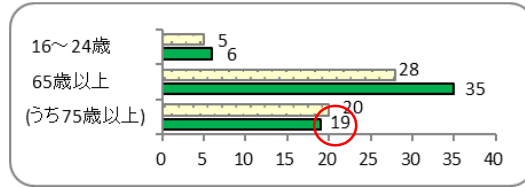
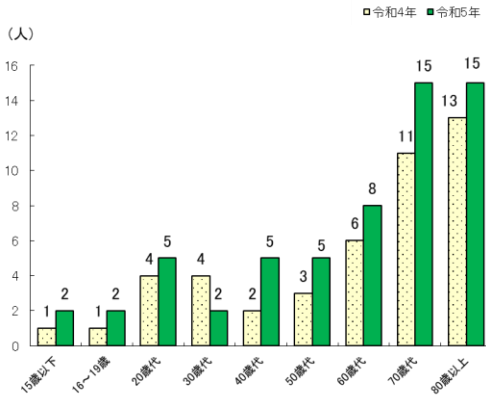
● 高齢者の交通事故発生状況

令和5年中、京都府内では59人の方が交通事故で亡くなられています。そのうち、35人が65歳以上の高齢者で、全体の約6割を占めており、特に自動車乗車中に多く発生しています。

	発生件数(件)	負傷者数(件)	死者数(人)
全体	4,067	4,668	59
うち高齢者	1,493	748	35



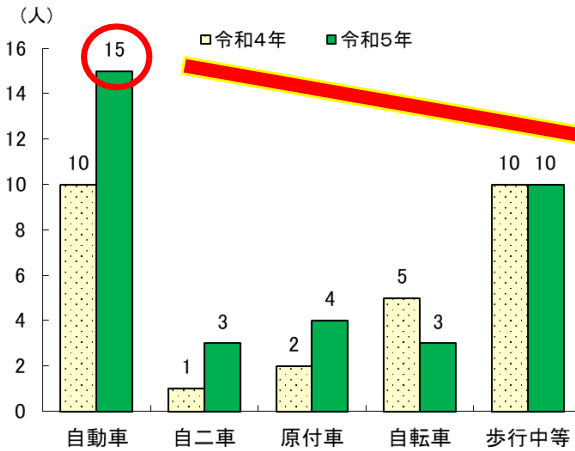
● 年齢層別死者数



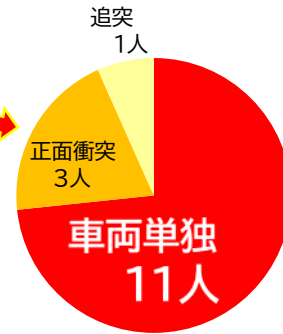
POINT

65歳以上の高齢者のうち、75歳以上の方が半数以上を占めています。

● 状態別死者数



● 自動車乗車中の事故類型別死者数



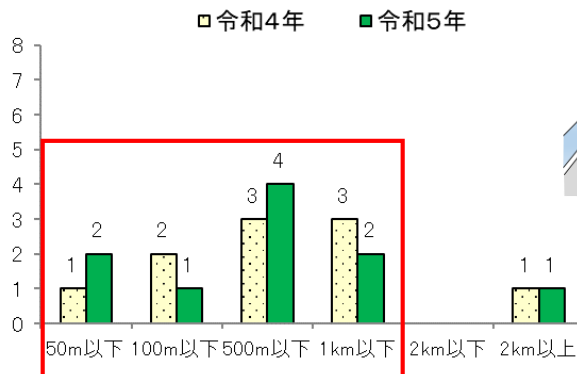
POINT

道路外逸脱やガードレール、電柱といった工作物との衝突など、車両単独の交通死亡事故が多く発生しています。



運転中は、考え事や脇見など漫然と運転することがないよう、前後左右の状況を確認するなど、運転に集中しましょう。また、時間や心にゆとりを持つことも大切です。

● 歩行中の死者の自宅からの距離



POINT

歩行中の交通死亡事故は、自宅から1km以内で多く発生しています。

夜間(夕方含む)に発生した、歩行中の交通死亡事故の死者を見ると、反射材の着用がありませんでした。目立つ工夫をしましょう。

